

平成28年度5月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 平成28年4月28日（木）午前11時00分～11時40分

場所 市役所2階第1委員会室

出席 市政記者クラブ10社

会見内容

1. 話題提供（6項目）

1. シティプロモーションの実施について

- 釧路市を舞台とした漫画「9～キミがいる街で恋をした」のコミックス第2巻の発売を記念し、作者である京町妃紗（きょうまち ひさ）先生のサイン会が5月15日（日）午後2時からコーチャンフォー釧路店において開催されます。
- このサイン会では「9」のコミックス第2巻をコーチャンフォー釧路店で予約のうえ、サイン会当日までに購入した方、先着100名に整理券が配付され、当日、整理券と購入したコミックスを持参されると、その場でコミックスにサインしてもらえることになっております。
- この作品は小学館より発行されております女子中高生向け人気コミック誌「Sho-Comi（ショウコミ）」に昨年9月から今年3月まで連載され、全11話が掲載されました。
- 作品では、高校生が織りなす青春ストーリーの中に、出世坂や幣舞橋、釧路大漁どんぱく、阿寒湖の夏希灯、MOO隣のEGG、ザンギ、スパカツなど、多くの釧路市の魅力が描かれております。
- 今月20日に発売された「Sho-Comi」にもこのサイン会の情報が掲載されており、全国誌への掲載により、釧路がさらにPRされるものと、うれしく思っております。
- 続きまして、「釧路市シティプロモーション事業」として全国4か所の図書館で「北海道釧路特集フェア」が開催されます。
- この事業は、釧路市のPRのため、全国各地の図書館にご協力いただき、各図書館の一角に釧路市ゆかりの書籍を集めた特設コーナーを設け、あわせてポスターの掲示やパンフレットを置いていただき、釧路市の文学と「釧路市の魅力」をPRするものです。
- まずは、5月11日（水）から6月13日（月）までの予定で、広島県の福山市中央図書館にて開催され、以降、愛知県の田原市図書館、愛媛県の松山市立中央図書館、東京都港区の麻布図書館で順次、開催される予定となっております。
- また、期間中に図書を借りた方、各館先着で946名に釧路市オリジナル絵はがきをプレゼントすることとなっております。

- 今後も全国のみなさんに涼しい釧路をPRしてまいりたいと思っております。

2. サイン等多言語化検討プロジェクトチームの発足について

- 釧路市における外国人観光客の受入体制を整備する取組の一環として、市内のサイン等多言語化検討プロジェクトチームを5月10日に発足することといたしました。
- プロジェクトチーム設置の目的は、中国、台湾をはじめとする東アジアからの観光客が増加している中、釧路市の受入体制として、道路・各施設の案内サインや各種パンフレット等における多言語化について、釧路市全体の統一したガイドラインを策定することにあります。
- 多言語化は、多様な範囲に渡ることから、市内横断的な体制で取組む必要があると考えられておりますので、関係する10課11人の職員でプロジェクトチームを組織し、課題解決に向けて取組むこととしたところです。さっそくゴールデンウィーク明けには、第1回の会議を開催する予定となっております。
- なお、このプロジェクトチームで策定する釧路市の多言語化のガイドラインにつきましては、市内のみならず、民間事業者等、市役所以外の関係者にも周知を図り、全市的なガイドラインとしても活用することで、釧路市全体の外国人観光客の受入体制の強化を図ってまいりたいと考えております。

3. 愛犬と共に旅するチャーター便ツアー受け入れ等について

- 5月20日（金）から22日（日）までの期間、ANAセールス株式会社様の主催により、日本の航空会社では初めてとなる、愛犬と同席できる「ワンワンフライト in 北海道」ツアーが実施されることとなりました。
- 本ツアーはANAチャーター便を利用しており、従前、愛犬は機内では貨物室に預けられるところ、本ツアーではケージを隣の席に置き、飛行中も愛犬と一緒に過ごすことができます。
- ツアー概要といたしましては、5月20日（金）に成田空港を出発し、阿寒湖温泉の「ホテル阿寒湖荘」を貸し切ったの宿泊、滞在中には愛犬用の足湯やドッグランの利用、愛犬と共に貸切遊覧船の乗船など、阿寒湖温泉地区の大自然を様々な角度から体験していただける内容となっております。4月27日現在、44組91名(愛犬45匹)のお客様が来釧される予定となっております。
- また、本ツアーは、レンタカーで「ひがし北海道エリア」を周遊できるフリープランの商品で、東北海道エリアの雄大な大自然と豊かな食材を堪能することもでき、参加者の皆様にとって、愛犬と共に素晴らしい思い出が残る旅行になることと思われれます。本ツアーをきっかけに第2弾、第3弾のツアーの実施につながることも期待しております。
- なお、今回のツアーに併せまして阿寒湖温泉への入り口である「道の駅 阿寒丹頂の里」では、赤いベレーエリアにドッグランやお散歩コースを設置し、無料開放

いたします。こちらは、旅の移動による愛犬のストレス解消の場として利用いただけるのではないかと考えております。

- また、阿寒マルシェでは、ツアー参加者へのウエルカムプレゼントとして、地元産のエゾ鹿肉を使用した愛犬用おやつプレゼントや、阿寒マルシェで販売している釧路エリアの特産品の紹介などを行う予定となっております。
- なお、プレゼントするおやつは「おやつのじかん」といい、エゾ鹿肉を釧路市、白糠町のハンターから買い付け、市内の企業で製造している商品です。商品はジャーキー、ステーキ、スティック、チップの4種類で、当日は4種類をミックスしたものをプレゼントする予定です。
- ツアーから戻った後もぜひ釧路の商品を愛用していただければ、と思っております。
- 本ツアーを主催するANAセールス株式会社様とは、去る2月25日に「釧路市とANAセールスの連携及び協力に関する協定」を締結したところであり、このツアーのお客様にはANAセールス株式会社様から釧路市に派遣された職員が、地域観光資源のPRを行うことになっています。
- また、「道の駅 阿寒丹頂の里」では、新しい取り組みといたしまして、4月29日（金）より、愛犬と宿泊できる「わんわん宿泊プラン」を販売開始することとなりました。併せてドッグランと、赤いベレー裏手にお散歩コースを設置し、無料開放を開始いたします。
- 「わんわん宿泊プラン」は、赤いベレーまたはキャンプ場バンガローに宿泊するプランで、これまではできなかった愛犬と一緒に宿泊ができるようになっております。
- 赤いベレーは1日1部屋限定となっており、和室に2名から5名の方と愛犬と一緒に宿泊できます。
- キャンプ場バンガローも1日1棟限定で、愛犬と一緒に宿泊することができます。
- また、今回、宿泊プランを利用された先着50の方に先ほどご説明しました地元産のエゾ鹿肉を使用した愛犬用おやつをプレゼントすることになっております。
- ドッグランとあわせて、市民の皆様や市外からのお客様など、多くの方にご利用いただきたいと思います。

4. 長期滞在の取り組みについて

- 長期滞在の取り組みについてです。平成27年度の、北海道体験移住「ちょっと暮らし」における釧路市の長期滞在者受入実績の速報値は、280組455人、延べ滞在日数9,871日となりました。平成26年度より160人、延べ滞在日数は1,059日の増加となっており、平成22年度より順調に、釧路で長期滞在いただく方々が増えているところです。

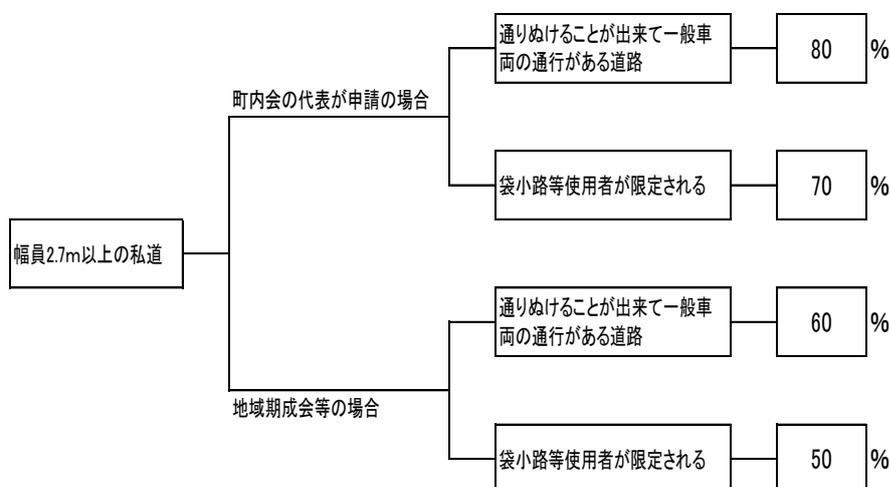
- 滞在者の年齢層は、例年と同様に60歳代、70歳代の方々が全年齢層の9割を占めております。居住地別では、関東地方が6割となっており、関西地方の2割と併せると8割を占めております。滞在日数では、4日から6日間の滞在が最も多くなっております。施設別では、ホテルが7割を占め、賃貸物件は3割となっております。
- ホテルでの滞在実績が多い理由としては、大手旅行会社がホテルでの滞在型旅行商品を販売したことと、賃貸物件での滞在に向け、下見を兼ねたホテル滞在型の利用が多かったためと分析しております。
- こうした状況の中、需要に対する供給が追いつかない状況にあり、より多くの方々に滞在いただくために、市では昨年度、くしろ長期滞在ビジネス研究会所属の不動産会社と連携して長期滞在専用施設の整備に係る支援事業である「釧路市長期滞在施設整備支援事業」を創設しました。平成27年度の実績としては13件21戸の整備が進められたところで、そのうち今年度はすでに17戸24組、平均で1戸当たり70日の滞りの予約が入っております。
- また、平成28年度の新規事業として、「くしろステイメンバーズカード事業」を5月9日（月）から開始いたします。このメンバーズカードは配布資料にもあるとおり、市内の社会教育施設について市民の皆様と同じ条件での利用や、物販施設での割引などの特典が受けられます。
- 滞在される方々へのおもてなしとともに、滞在しやすい環境整備に努めることで、リピーターの増加や釧路への愛着を高めていただき、居住地へ戻ってからも釧路産品を購入いただくなど、釧路ファンとなっていただければと考えております。
- なお、これまで、夏、秋、冬と各季節の特性を生かしたPR活動を実施してきた研究会が主体となり、このたび残る季節の春をPRするため「春のくしろでゆったり霧・幻想・体感」を新たなキャッチフレーズに、ポスターとパンフレットを作成したところです。
- 市では、民間事業者と連携したPR活動や滞在環境の整備を進め、引き続き、交流人口の拡大を図っていきたいと考えております。

5. 私道整備補助金の補助率嵩上げについて

- 私道整備補助金の補助率嵩上げについてです。私道に対する整備や補修工事につきましては、これまで幅員2.7メートル以上の私道を対象に、地域住民団体からの申請により工事に要する費用の50パーセント以内を補助してきたところです。
- しかし、私道利用者の減少、地域の人口減少と高齢化に伴い、整備費用の負担が増している状況にあることから、地域住民の生活基盤の向上や、住環境の維持を促進するとともに、町内会活動への支援を図るため、申請団体や道路状況の区分により、最大で80%への補助率の嵩上げを実施することとしました。

- 今後とも、市民生活に密着した取組を行うことにより、市民と協働し、住みよいまちづくりに努めてまいりたいと考えています。

私道整備補助金の負担割合（改定後）



※ 補助金の対象は、1団体につき年間1回、150万円を限度としている。

6. 「第4 2回くしろチューリップ・花フェア」の開催について

- 「第4 2回くしろチューリップ・花フェア」は、鶴ヶ岱公園を会場として、5月28日（土）を前日祭、29日（日）を本祭として開催いたします。
- 今回の新たな取り組みといたしましては、28日（土）の前日祭において「釧路公立大学 出張学園祭」と銘打って、同校まちづくり研究部によるイベントが行われます。本イベントでは、吹奏楽やストリートダンスなどのステージイベントや、道東の特産品が当たる道東ビンゴ大会などが実施されます。
- 29日（日）の本祭では、マーメイドくしろの発表セレモニーやヒートボイスのライブ、豪華賞品が当たる大抽選会なども行われるほか、子どもたちに大人気の消防車の体験乗車や、市立美術館のキャラクター「ペキタくん」とのふれあいコーナーなども設けます。
- また、2日間を通じての物販イベントとしては、釧路市の「ザンタレ」、標茶町の「星空の黒牛」、別海町「ジャンボほたてバーガー」など6店舗の出店が予定されており、道東の味覚を味わっていただくことができます。
- 小さなお子さまから大人まで楽しめる、盛りだくさんの内容のイベントとなっておりますので、多くの方々のご来場をお待ちしております。

2. 質疑要旨

(質問)

- ・ シティプロモーションは全国各地の図書館で行うとのことですが、福山や愛知などで開催することになった訳は、地理的な繋がりはあるのでしょうか。

(政策推進主幹)

- ・ 図書館の全国組織の研修会があり、釧路というキーワードで研修会中に話が盛り上がり、そこで話がまとまったものです。
北海道釧路に魅力があるということで、シティプロモーションの効果がこのようなところに発現しているのかと、うれしく思っているところです。

(市長)

- ・ シティプロモーションや図書館での取り組みを行っていた結果がこのような形となったもので、直営の図書館3つと、図書館流通センターが管理している東京の麻布の図書館とで、話がまとまったものです。

(質問)

- ・ 釧路にまつわる図書を置くとのことですが、展示物のボリュームは結構なものになりますか。

(政策推進主幹)

- ・ 先方には結構な広さのブースをご用意いただいております、釧路ゆかりの原田康子さんや桜木紫乃さんの本の他、地域のパンフレットも置き、釧路を全体的にイメージしていただくような内容となります。

(質問)

- ・ このような取り組みは初めてでしょうか。

(政策推進主幹)

- ・ 初めてです。

(質問)

- ・ 市役所の職員は行くのでしょうか。

(政策推進主幹)

- ・ 市役所職員は行かず、それぞれの図書館には特色ある見せ方がありますので、お任せしようと思っています。

(質問)

- ・ サイン多言語化プロジェクトチームについて、釧路市内には道道や国道も通っていますが、これらも含むのでしょうか。

(市長)

- ・ 基本的には、市道や市の施設の現状を把握し、情報を積極的に出していこうと思います。何か国語にするのかということについても場所によって違っており、例えば空港には4つの言語があり、防災庁舎は日本語のみとなっています。「通り」の訳にしても「ストリート」とするのか「アベニュー」にするのか、そのような部分も含め現状を把握し、表示などを含めてしっかりやっていこうと考えており、全庁的に統一していこうとしているところです。

(質問)

- ・ 市では何か国語くらいの多言語化を想定しているのですか。

(市長)

- ・ そこから議論していく予定です。例えば東京では街の中は英語のみで、根室では街の中はロシア語のみとなっており、羽田空港は日本語、中国語、韓国語、英語となっているということを踏まえ、市としてどうしていくのかをしっかりと決めていくのが重要だと思っています。表示にはスペースの問題があり、道路標示に4か国語で表記すると小さくなってわからなくなってしまう。新幹線では名称を表示した結果、誰も読めないような大きさになったと聞いており、そのような現実を踏まえて、明確に決めながら進めていこうと考えております。

(質問)

- ・ いつごろまでに決める予定ですか。

(政策推進主幹)

- ・ 9月を目途に、ガイドラインをまとめます。

(質問)

- ・ 第1回の会議の日程は決まっていますか。

(政策推進主幹)

- ・ 5月10日、9時半から第1委員会室で開催する予定です。

(質問)

- ・ プロモーションでは、ポスター、パンフレットは釧路から送るのだと思いますが、各図書館が所蔵している本をコーナーにまとめるのか、あるいは釧路から本や資料を送って支援するのか、どのような形になっていますか。

(政策推進主幹)

- ・ 基本的には、各図書館でご用意いただくという形にしています。

(質問)

- ・ 送るのはパンフレットくらいですか。

(市長)

- ・ 絵葉書も送ります。

(質問)

- ・ チャーター便についてお聞きします。連携協定を締結していますが、このツアーは締結をきっかけにできたものなのか、もともとツアーの計画があつて締結があり、せっかくだから一緒にやりましょうという形になったのかお聞きしたいと思います。また、阿寒丹頂の里のドッグランとお散歩コースはいつ完成するのかについて、費用のことも含めてお伺いしたいと思います。

(観光開発主幹)

- ・ ツアーは、締結後の発表ではありますけれども、それ以前から計画はなされていたと伺っております。

(市長)

- ・ これまでANAセールスさんとは冬季のツアーの企画などで協力関係にあり、信頼関係や実績も大きく、そのことが提携にもつながりいろいろな事業にもつな

がったものです。

(阿寒町行政センター長)

- ・ ドッグランの利用開始は4月29日からとなり、費用は資材の購入費のみで、公社職員が設置しています。場所は国道沿いと、赤いベレーの建物の裏手側の2か所に作っております。

(質問)

- ・ 広さはどれぐらいでしょうか、

(阿寒町行政センター長)

- ・ 国道沿いのものが10m×5mくらい、50㎡くらいで、赤いベレー裏手も同じくらいの広さです。

(質問)

- ・ 基本的には宿泊される方の使用となりますか。道の駅の利用者の方も無料で使えるということですか。

(阿寒町行政センター長)

- ・ 今回、ツアーの参加者には立ち寄った際に犬をドッグランにおいて阿寒丹頂の里を見ていただき、赤いベレーとバンガローの宿泊についてもこれに呼応する形で、宿泊客が日中行動される時にドッグランを使ってもらおうことを考えています。また、宿泊せずに阿寒丹頂の里で過ごすお客さんにも、無料でご利用いただけます。

(質問)

- ・ ドッグラン、ワンワン宿泊プランなど犬にまつわるものが多いですけれども、「ニャンニャン」はないのでしょうか。今、統計を年次で見ると飼い犬の数は若干減っており、逆に猫が増えているということで、愛猫家が増えておりますが、猫対応や、鳥などの受け入れはどうなのでしょう。

(阿寒町行政センター長)

- ・ 今回、ANAさんで企画されたのがワンワン宿泊プランということで、今お話しいただいた、猫をかわいがっている方がたくさんいるということは承知していますけれども、今はドッグランに特化する形で用意させていただき、ニーズが出てきた時に対応できるか検討していきたいと思っております。

(質問)

- ・ ペットというくくりの中での考え方はどうなのでしょう。

(市長)

- ・ 商品化の可能性が出てきたら、そういったものも出てくると思うのですが、愛犬家が旅行で移動中に一緒に泊まりたいという状況で、ANAセールスさんがツアーを企画し、大変人気があるということですので、今後、推移を見ていきたいと思っております。

(質問)

- ・ 今回、ワンワン宿泊プランと銘打っていますけれども、釧路市として、ペットツーリズムを本格的に推進していこうという考えがあるのかどうかお聞きしたい

のですが。

(市長)

- ・ 推移を見ながら、どれだけ需要が出てくるのかということで、対応していくことになると思います。ツアーをANAセールスさんが企画し、私どももそれに呼応して赤いベレー、バンガローの宿泊を開始しますが、今後の利用状況や需要動向等を見ていきながら、次の展開を考えていくということになると思います。

(質問)

- ・ そうするとまだ本格的ではなくて、試験的なものということでしょうか。

(市長)

- ・ そう認識していただければいいと思います。

(質問)

- ・ 関連して、今予約されている44組91名というのはどこから来る方が多いのでしょうか。

(阿寒町行政センター地域振興課長補佐)

- ・ 主に関東のお客様となっています。

(質問)

- ・ 今回の熊本の地震についてお聞きしたいのですが、今回立て続けに強い揺れが起き、公共施設や住宅など、1回目は持ちこたえても2回目で倒壊したりしているようですけれども、こういった事態が起きていることについて、市長の考えをお聞きしたいと思います。

(市長)

- ・ 熊本地震が終息することをお祈りしています。
あのような起こり方は昔もあったとのことですが、基本的には想定されていなかった状況です。

私たちの地域では海溝型地震ということで、活断層はないということになっており、今後どういった形になるのかは、専門家の方々の論調も踏まえながら進めていくことになると思います。

(質問)

- ・ それに関連して、札幌の秋本市長が防災計画を見直すと言っていますが、釧路市はどうですか。

(市長)

- ・ 確認はしていませんが、札幌市の場合は活断層があることを前提に進めていると認識しており、活断層があるところでは対応しなければいけなくなると思います。これまでの前提では釧路地域は海溝地震で、活断層はないということになっており、今後、地質学や地震学の専門家の方の情報をいただきながら対応していくことになると思います。

市として必要な対応をしっかりとっていくことが重要だと思っています。

(質問)

- 活断層の話はないが、釧路市で有識者の方たちを集めて大丈夫かどうか聞く用意があるのかどうか、お聞きしたいのですが。

(市長)

- その必要性が出てくるかどうかによります。

釧路では、プレート型地震による津波対応にウエイトを置き、対策を行ってきました。プレート型地震でも、熊本のように何回も起こる可能性があるということであれば、対応をとることになると思っています。現状では、活断層による起こり方だと考えておりますので、必要があるときにはこまめに対応し、地域としての安全安心を確保するために、状況に合わせて対応していきます。